

PCM1760/DF1760電源投入時及び パワーダウン時のタイミングに関する注意点

本アプリケーション・ノートはPCM1760/DF1760において、電源投入時またはパワーダウン使用時に発生する可能性のあるチャンネル間位相差の問題とその解決法、アプリケーション例について説明します。

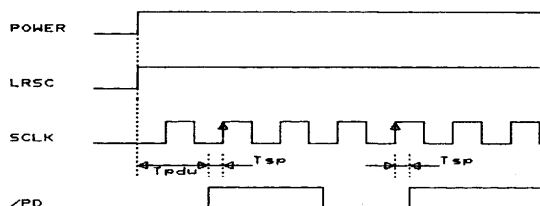
DF1760の動作がスレープモード時において、入力L/Rクロックと内部データ・ラッチタイミングの関係でLchデータとRchデータが1サンプル分、位相がずれる可能性があります。

この症状は特定のタイミングで発生する為、実使用において見逃す可能性もあります。(位相差は $f=1\text{kHz}$ において $7^\circ \sim 8^\circ$ です。)

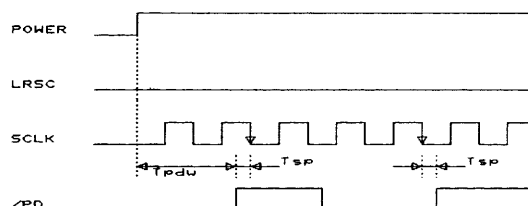
従って、スレープモードでDF1760を使用する場合は、第1図に示すタイミングで使用して下さい。

尚、実使用時におけるアプリケーション例を図2、図3に示します。

< LRSC = "H" >



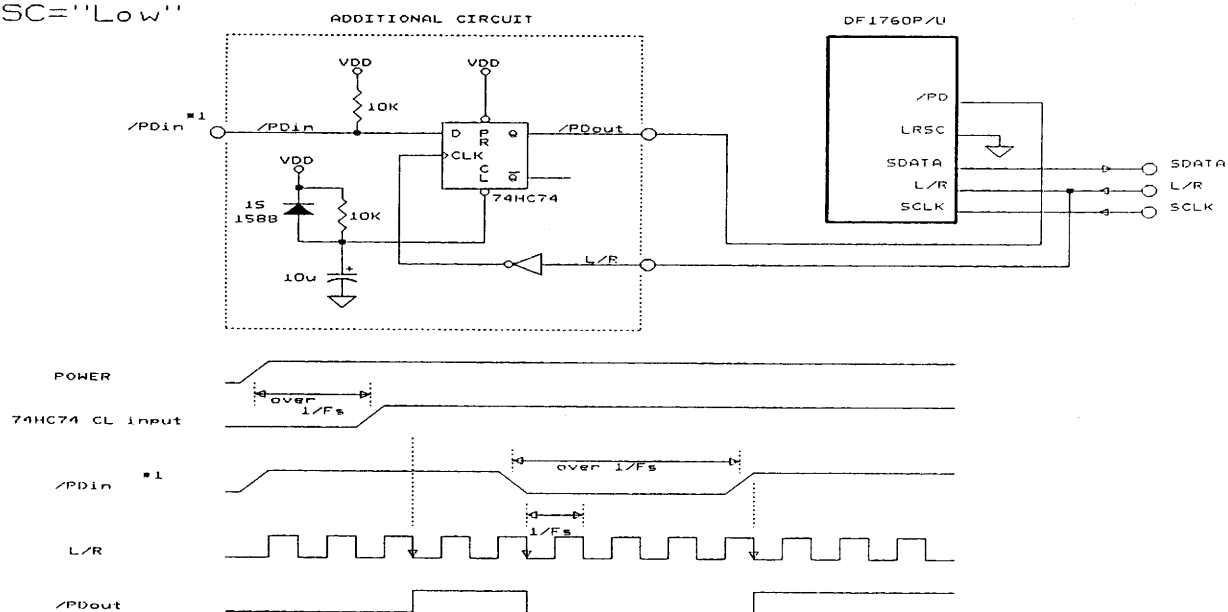
< LRSC = "L" >



DESCRIPTION	NAME	MIN	TYP	MAX	UNITS
Delay from POWER ON to rising edge of PD	T _{pdw}	2			1/F _{clk}
Delay from rising edge of SCLK to rising edge of PD (In case of LRSC = "H")	T _{sp}	-1		+1	1/F _{clk}
Delay from falling edge of SCLK to rising edge of PD (In case of LRSC = "L")	T _{sp}	-1		+1	1/F _{clk}

図1 DF1760 電源投入・パワーダウンタイミング規定

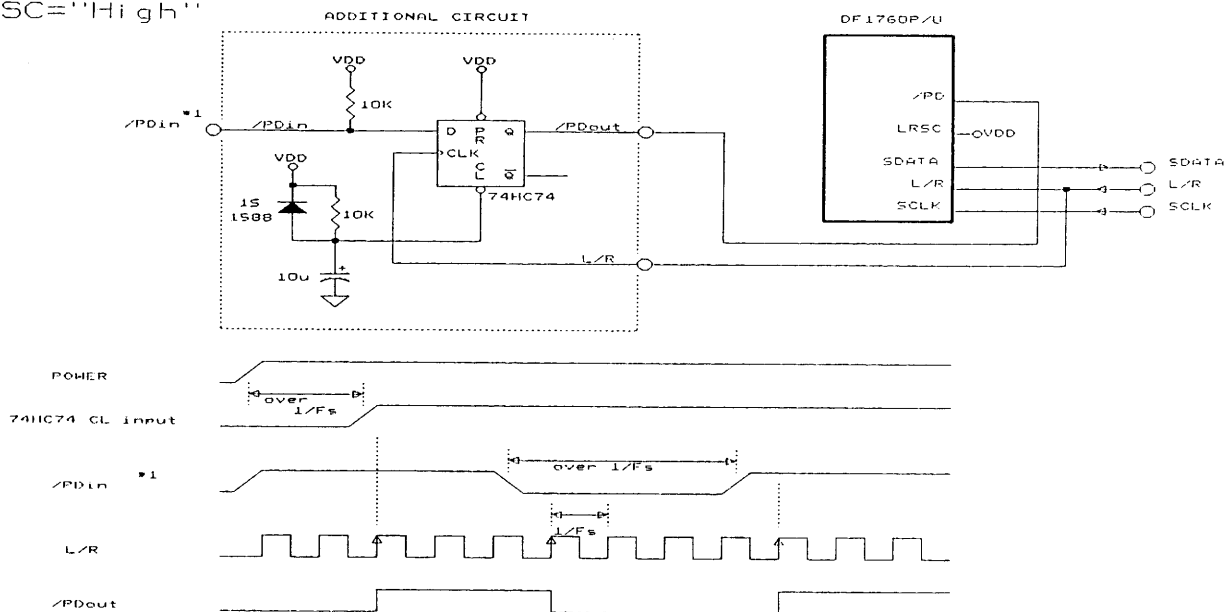
LRSC="Low"



* 1 : 外部コントロールが必要な場合、この場合 /PDinパルス幅として $1/Fs$ 以上が必要。

図2 アプリケーション例(1) LRSC=L

LRSC="High"



* 1 : 外部コントロールが必要な場合、この場合 /PDinパルス幅として $1/Fs$ 以上が必要。

図3 アプリケーション例(2) LRSC=H

日本バー・ブラウン株式会社

本社 〒107 東京都港区赤坂7-10-20 アカサセブンスアヴェニュービル ☎03 3586 8141
大阪営業所 〒532 大阪市淀川区西中島4-5-1 新栄ビル ☎06 305 3287
名古屋営業所 〒465 名古屋市東区本郷2-175 サニーホワイト藤 ☎052 775 6761

フリーダイヤル ホットラインFAX
東京 ☎FAX.01 20-068801
大阪 ☎FAX.01 20-068805
回路設計およびデータ収集・コントロールシステムの構築のあらゆるご相談をいつでも承ります。